

## 青山貴子学長が中国を訪問、浙江工商大学と学術交流協議書を締結しました

6月9日、青山貴子学長、国際共同研究センター劉星副センター長一行は、中国杭州市にある浙江工商大学を訪問しました。



浙江工商大学は、25000人余りの学生が在籍し、商学、経営学、法学など研究・教育分野に特化している名門大学です。9日午前、青山学長は浙江工商大学顧青副学長と会談し、それぞれの大学の教育の現状と方向性を紹介した上で、商学、経営学、法学、外国語教育などの教育・研究分野において、両大学のさらなる協力を進めるために学術交流協議書に調印しました。

さらに、青山学長は浙江工商大学発展委員会副主席 稲盛商学院院長李軍教授とも、日本式の経営、日本文化に関する更なる交流の推進について意見を交換しました。



午後、青山学長は浙江工商大学東洋言語哲学学院の学部生を対象に「日本の大学の現状と改革について」と題した講演を行い、日本の高等教育の現状と発展の方向性を紹介し、本学の教育の現状、特徴及びC2Cの運営理念などを学生に共有し、教員や学生から好評を得ました。



浙江工商大学訪問後、青山学長は山梨学院大学の張華副学長の案内の下、浙江中医薬大学を訪問しました。浙江中医薬大学は2万人以上の学生を有する浙江省の重点大学です。訪問中、青山学長は、本学の教育の現状と教育方針を紹介し、張華副学長は、人文・社会科学分野における本学の学術交流実績について説明しました。